

令和元年度 諏訪湖浄化講演会

水環境保全に関わる市民活動の ポテンシャルと官民連携の意義



全国各地の河川・湖沼において水環境保全に関する取り組みが色々と行われています。

これらは市民の自主的な活動とだけ認識されがちです。

しかし河川管理の視点で照らし合わせるとどの程度の価値を持っていることになるのか、そのポテンシャルについて紹介し、市民と行政の連携した河川管理の意義について考えます。

講師：国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ
自然共生研究センター 専門研究員
さかもと たかあき
坂本 貴啓 氏

1987年福岡県生まれの川系男子。

北九州市で育ち、高校生になってから下校途中の遠賀川へ寄り道をするようになり、川に興味をもちはじめ、川に青春を捧げる。筑波大学大学院博士課程時代に全国109水系を巡る。2017年4月より現職。

「自治的河川管理」を主題として、全国の河川協力団体に関する研究や川を活かしたまちづくりの調査研究活動を行っている。博士（工学）

入場無料・申込不要・どなたでも参加できます

日時

令和2年1月24日（金）
18:30～20:00

場所

諏訪市役所5階 大会議室
※市役所駐車場をご利用いただけますが、台数に限りがありますので乗り合わせ等でのご来場にご協力をお願いいたします。



【主催者・お問い合わせ先】

■諏訪湖浄化対策連絡協議会 事務局（諏訪市生活環境課内 電話 0266-52-4141 内線 215）

■美しい環境づくり諏訪地域推進会議 事務局（諏訪地域振興局環境課内 電話 0266-57-2952）